

2018年7月3日(火)

神奈川新聞 教育面掲載

ザ・チャレンジ

ザ・チャレンジ

(大学受験編)

2020年度から「大学入学共通テスト」が始まり、センター試験が廃止になるということは、既にご存じの方が多いと思います。新たな情報として、大学入試センターは「大学入学共通テストにおいて過年度卒業生用の問題は作成しない」との発表がありました。学習指導要領が改訂された場合、高校卒業年による出題内容変更などの経過措置が取られるのが通例です。

しかし、今回は学習範囲の変更ではなく、出題方針変更のため過年度卒業生用問題の出題は予定しないということです。

現高2生は、現在の「センター試験」を受験する最終世代となるわけです。しかし、「大学入学共通テスト」は関係ないと言ってばかりはられません。もし現役で進学をしない場合は、翌年以降はこの「大学入学共通テスト」を受験するということになり、新しい入試制度の対策を行ってきた現高1生と同じ土俵で戦うことになるので

す。

現在のセンター試験との違いとして、例えば「大学入学共通テスト」の次回試行テストに関して、「英語のリーディングとリスニングの配点を均等（1：1）に実施する予定」を明らかにしました。つまり、現在のリーディングとリスニングの配点が4：1であるのに対して、大学入学共通テストでは、リスニングの比率が今までの倍以上大きくなるのです。

このような制度変更を受け、高2生においては「何としても現役で合格したい」という現役志向が高まり、受験自体の競争が激化することが予想されます。

高2生は、「センター試験」レベルの問題で、早い段階で高得点を取れるだけの力を付ける必要が今まで以上にあります。私立大学の入学定員の厳格化の流れ等を受けて、合格者の減少等が起り、高倍率の大学受験が行われています。

Q. 「大学入学共通テスト」へ対策は？

そこにさらなる、激化が予想されるわけです。「合格最低点ギリギリで合格する」というような考えは通用しない時代なので。だからこそ、入試の基礎といわれる「センター試験」での目標点等を高2生のうちから意識し、センター試験レベルで高得点が取れるだけの基礎力を付けていきましょう。

「基礎力を早期に付ける」というのは高2生に限ったことではありません。応用力を身に付け、志望校の対策に移るには、基礎力が重要となります。受験は先手必勝です。高2生、高1生においてもこの夏を「受験勉強スタートの夏」と位置づけてみてはいかがでしょうか。

(CG高等館 東進衛星予備校)

※幼児教育から各段階の進学対応まで、多様な学び、の情報を紹介。今回は小学校編。

A. 基礎力を早期に付ける



大学進学情報紙「TOSHIN TIMES」
CG高等館 東進衛星予備校各
校舎で無料配布中